

本単元は、次の2点を観察や実験を通して押さえる。

- 1 水は、高い場所から低い場所へと流れて集まること。
- 2 水のしみ込み方は、土の粒の大きさによって違いがあること。

● 1の教材紹介 かたむきチェッカー「タピオカでGo」

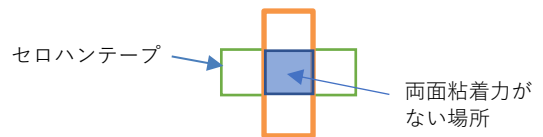
〈目的〉水の流れがあるところや水たまりのそばに置き、地面に傾きがあるかどうかを調べる。

〈準備物〉

- タピオカストロー □丸ビーズ・BB弾など □セロハンテープ

〈作り方〉

- (1) セロハンテープの粘着面同士を十字に貼り、ストローの片側に貼る。
- (2) ストローに付かなかったテープごと、上から新しいセロハンテープを巻き付けて、ストローの片側をしっかりとふさぐ。
- (3) ストローにビーズなどを適量入れる。
- (4) ストローのもう一方を、(1)(2)と同様にふさぐ。



〈使い方〉

- ・水たまりや水の流れが確認できるところに置いて、ビーズの動きを観察する。
- ・晴れた日は、水たまりがあった場所の中心に三角コーンを置き、観察の目安としてもよい。

● 2の教材紹介 しみこみチェッカー「まる見えコップ」

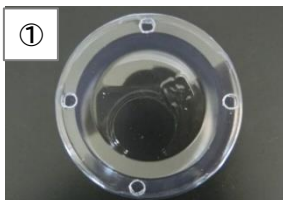
〈目的〉土や砂の粒の大きさによって、水のしみ込み方に違いがあるかどうかを調べる。

〈準備物〉

- プラコップ大・小（滑り止めの線付き） □きり □ガーゼ □カラーシール
 □水たまりの底の土（粒小） など □砂場の砂（粒大） など

〈作り方〉

- (1) プラコップ(小)の底に、きりで穴を数か所あける。
- (2) プラコップ(小)の底に2枚重ねたガーゼをかぶせる。
- (3) カラーシールを(1)に貼り、内容物の表示をする。
- (4) プラコップ(小)に、プラコップ(大)を重ねてセットする。



〈使い方〉

- ・砂場の砂やグラウンドの土をプラコップの上の線まで入れ、上から軽く抑える。
- ・ビーカーに水を50mL（お好み）用意し、それを同時に入れ、しみ込む様子を観察する。
- ・降雨時と同じ環境にするため、砂や土はあらかじめ水で湿らせてから実験するとよい。
- ・ピタリとはまるコップがない場合、コップの隙間にものを挟むと同じ大きさのコップでも実験できる。



土



砂



砂利(参考)